

乙 第 号

小池奈月 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	福島英賢
論文審査担当者	委員	教授	嶋 緑倫
	委員(指導教員)	教授	小林 浩

主論文

Squamous cell carcinoma antigen as a novel candidate marker for amniotic fluid embolism

Squamous cell carcinoma antigen は羊水塞栓症診断の新しいマーカーとなり得る

Natsuki Koike, Hidekazu Oi, Katsuhiko Naruse, Naohiro Kanayama, Hiroshi Kobayashi.

Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 2017 Dec; 43 (12): 1815-1820.

論文審査の要旨

羊水塞栓症は、羊水中の胎児成分が母体循環に入り、急激な呼吸循環障害や DIC を呈する致死性的疾患であり、死亡率は約 60% と高い。確定診断は剖検でしか行えず、症候から臨床診断されているのが現状である。血清学的補助診断マーカーとして胎便中に多く含まれるシリアル Tn (STN) 抗原、亜鉛コプロポルフィリン 1 (ZnCP-1) が用いられてきたが、両者とも感度・特異度が高くないという問題があった。本研究は新たな診断マーカーとして、羊水中に特異的に濃度が高い Squamous cell carcinoma 抗原 (SCCA) に着目した。日本産婦人科医会が行っている羊水塞栓症血清検査事業で集められた血清を対象とし、剖検で診断した確定的羊水塞栓症 4 例、臨床的基準を満たす臨床的羊水塞栓症 16 例、正常分娩 74 例の SCCA を測定したところ、正常分娩群に比して、確定的羊水塞栓症、臨床的羊水塞栓症で有意に SCCA が高値であった。ROC 解析を行い、羊水塞栓症診断の SCCA のカットオフ値を 7.15 ng/mL と設定したところ、従来用いられてきた STN、ZnCP-1 より感度・特異度も優れていた。本研究は、血清 SCCA 測定が致死性的疾患である羊水塞栓症の新しい診断マーカーとなり得ることを示唆しており、本病態の救命にも寄与する有意義な研究と考えられる。

参 考 論 文

1. Evaluation of vaginal fluid squamous cell carcinoma antigen test in diagnosis of premature rupture of membranes.
Natsuki Koike, Hidekazu Oi, Katsuhiko Naruse, Taihei Tsunemi, Juria Akasaka, Toshiyuki Sado, Hiroshi Kobayashi.
Journal of Maternal Fetal and Neonatal Medicine. 2017 Feb;30(3): 334-337.
2. Predictor of mortality in patients with amniotic fluid embolism.
Hidekazu Oi, Katsuhiko Naruse, Natsuki Koike, Taihei Tsunemi, Hiroshi Shigetomi, Naohiro Kanayama, Hiroshi Kobayashi.
Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 2014 Apr;40(4):941-5.
3. Peripheral RAGE (receptor for advanced glycation endproducts)-ligands in normal pregnancy and preeclampsia: novel markers of inflammatory response.
Katsuhiko Naruse, Toshiyuki Sado, Taketoshi Noguchi, Taihei Tsunemi, Juria Akasaka, Natsuki Koike, Hidekazu Oi, Hiroshi Kobayashi.
Journal of Reproductive Immunology. 2012 Mar;93(2):69-74.

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに女性生殖器病態制御医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和元年 9 月 10 日

学位審査委員長

救急病態制御医学

教授 福島英賢

学位審査委員

発達・生育医学

教授 嶋 緑倫

学位審査委員(指導教員)

女性生殖器病態制御医学

教授 小林 浩